

POEM'98 in ASO ご案内！

ACE夏の祭典・POEMの時期が迫ってまいりました。昨年は真夏の浪花で溶けてしまいそうな暑さの中で行われましたが、今年は更に南下して、「火の国」熊本は阿蘇が舞台です。今回初めてホスト役を務める九州支部の若大将、燃える男・吉富支部長から、開催と参加のご案内が届いていますので紹介します。



今回のお宿、グリーンピア阿蘇外観。

なおこの時期は毎年のことながら、お盆前の繁忙期にあたります。飛行機ほかの予約をできるだけ早くするために、おおまかな参加人数をとりまとめておきたいと思いますので、行けそうな方は、事務局・青柳 (aoyagi@hokkaido-np.co.jp、011-210-5506) までご一報下さい。

(付記) 今回の予定ルートは、

- ・空路博多 - 阿蘇 - グアム - 札幌 (グアムツアー利用)
 - ・直行便でソウル - フェリーで博多 - 阿蘇 - 再びフェリーでソウル - 札幌 (韓国ツアー利用)
 - ・空路博多 - 阿蘇 - 長崎ハウステンボス - 札幌 (長崎ツアー利用)
- など、様々な構想が浮上しては消え、まだ確定してません。もちろん、フツーに往復されても結構ですが、旅費としては変わらないので楽しんで来ようか、ということ考えています。そういえば、稚内北星短大のサマースクールの直後でもありますね。日本列島縦断の人もいるかな？

授業実践発表の希望も、もちろん受け付けています！

POEM'98 in ASO

テーマ：思い出してみませんか伝える楽しさを

■開催趣旨

・私たちは、子どもたちが豊かな心を持った大人になってほしいと願っています。

私たちはコンピュータを使った教育を考えるにあたって、子どもたちを中心にします。子どもたちとともに、子どもたちの目が輝くような、子どもたちが生き生きしてくる学校をつくりたいのです。

・私たちは、自分たちの楽しい経験を子どもたちに伝えることが楽しいのです。

私たちに今何ができるのか、これから何をしていくのか、いっしょに考えましょう。家庭や学校・地域でコンピュータをどう

使ったら良いのか、いっしょに考えましょう。「先生、こんな学校にしてよ。」ということもたちの声が聞こえてきませんか。

・私たちは、子どもたちといっしょに楽しい学びの場を作りたいのです。

楽しさを実現するには、良い環境が必要です。今ある環境を活かし、将来につなげるために、未来の教室を提案します。未来を先取りした実践を行なっている教室・学校・地域がもうあります。楽しい未来へのノウハウを共有しましょう。

■テーマ

「思い出してみませんか伝える楽しさを」

だれしも子どもの頃、田舎で遊んだことを思い出すことがあるでしょう。

自然の中で遊んだように、コンピュータで遊んでみませんか。

遊びから学んだ事がたくさんあるはずです。

地域・まち・暮らしの場・学校、すべてが、子どもたちにとって学びの場なのです。

おとなにとっても、子どもにとっても、伝えることは楽しいことなのです。

■いっしょにやってみましょう

・家族でおいでよ

コンピュータは、おとなだけのものではありません。

家族みんなで参加してください。

おとなも子どもも、みんなで楽しみましょう。

・困っている人集まれ

子どもたちとともに、コンピュータをどう活用するかいっしょに考えましょう。

■主催：ACE (教育とコンピュータ利用研究会)

<http://www.ace.or.jp>

共催：(社)日本教育工学振興会

後援：文部省、熊本県教育委員会、熊本県市町村教育委員会連絡協議会、熊本大学(予定)、熊本日日新聞社、NTT熊本支店

協賛予定：アップルコンピュータ株式会社、内田洋行株式会社、キヤノン販売株式会社、島津理化器械株式会社、マイクロソフト株式会社、ヤノ電器株式会社 他

■開催日時

1998年8月6日(木)、7日(金) [6日(木)幹事会/準備]

■開催予定地

グリーンピア南阿蘇 (熊本県阿蘇郡久木野村)

<http://www.kings.co.jp/green/gmain.htm>

■対象者

学校関係者および教育とコンピュータ利用に関心を持つ人

■参加予定

500人 うち宿泊客 200人程度

■プログラム

1. もう始まっています、未来の教室 (講演/企業展示/模擬授業)

2. ここで使おうコンピュータ

1) 学校でこう使いました (授業実践発表/公募)

2) 困っている人あつまれ (質問コーナー)

3. 子どものじんち (子どもたちと一緒に遊んでください)

■内容について

1. もう始まっています、未来の教室

1) 講演「マルチメディアで学校革命」鈴木敏恵氏(メイン会場/午前)

未来の教室はもう始まっています。先進的な学校では、いろいろな実践がなされています。それらを織りまぜて、あるべき未来の教室の姿について提案してもらいます。未来を念頭に置きながら、今できることを進めていくことが大切なのです。



地図です。迷子にならないでね。

2) 教室提案：模擬授業/企業展示(サブ会場大/午後)

未来の教室を会場に作ります。環境はACEと企業とで共同提案します。実践をもとにした提案をします。教室を使った模擬授業で、未来の教室を体験してもらいます。

2. ここで使おうコンピュータ

1) 学校でこう使いました(授業実践発表/公募)(メイン会場/午後)

現在の学校でのコンピュータ活用は、導入されている機材に応じて色々な段階があります。それぞれの段階を追って、先生方が日ごろ授業で活用しておられるようすなどを、具体的事例・失敗例をあげながら発表してもらいます。また、児童・生徒が自分たちの活動のようすを発表します。POEM97から始まったタイ交流事業についての発表もあります。

2) 困っている人あつまれ(ロビー/午後)

先生、教育委員会、親、それぞれの立場でコンピュータ導入にあたって困っていることがあると思います。これらを皆で考える場を作ります。

覆面相談員も登場します。有名企業の社員が覆面で相談にのります。予算の獲得・導入・活用など、普段は聞けないノウハウを披露します。

・先生：いまあるコンピュータをどうつかうの？ 学校にコンピュータを入れるには何処にどう働きかけるの？ 学校でインターネットをするには何が必要なの？ いくらかかるの？ 授業でどう使うの？

・教育委員会など(設置者側)：コンピュータを各学校に導入するとき、どんなシステムをいれたらよいのか。先生方の研修のすずめかた。

・親：家でコンピュータを買わなきゃいけないの？ どんなソフトがあるの？

3. こどものじんち(スポーツホール・外)

こどもたちと一緒にコンピュータに触れてください。自然の中で遊んでください。(保護者の責任で、こどもたちを遊ばせて下さい。)

・スポーツホール

コンピュータで遊ぼう、インターネットで遊ぼう、おもちゃで遊ぼう

・外(アスベクタ遊具/要使用料)

PCリサイクルワーキンググループの設立について

代表 由水 伸(道都大学短期大学部)

この活動の源流は先の冬くらいに遡ります。ACEの会員でも

ある見澤先生が、学生のインターネット利用環境改善のためにプロキシサーバを格安で入手する方法はないかと、NCF97(ネットワークコミュニティフォーラム)のメーリングリストに投稿したことが発端です。この中でメールのやり取りでは、インターネットのサーバーとしては高価な専用機は必ずしも必須ではなく、トラフィックが少ない場合には旧式の486マシンでも十分使えるという話がプロバイダの管理者などから届き、それなら身近の古い機材の部品で自作してしまおうという雰囲気になりました。これが昂じて、それなら私は古い98を甦らせよう、筐体はペイント缶でもいいのかと話しが進展しました。その結果、要は古い機材を寄せ集めて作った旧式のマシンでもサーバーに限らず特定用途においては立派に使えるではないか、ということになり仲間を募ってできたのがこの集まりです。

このワーキンググループの趣旨は、結論からいうとMacやPC、UNIXなどが好きな人間達が集まって、お互いの人的ネットワークを使って集めた機材を、持てる知識と道具を駆使して実用機へ再生する過程の面白さ、会員同士の専門分野の違いによって生じる「新知識」の修得を参加者のメリットとするものです。そして、発端となった先の話の趣旨を大切に、学校や福祉施設においてコンピュータが必要なだけでなく簡単に購入できない場合に、機材を融通するといった社会的貢献を視野に入れています。

現在の参加者は30数名です。ただのおねえさん？からLSIや基盤設計の経験者、OSやアプリケーション開発者まで幅広い層が参加しています。そして、なぜか一番多いのが学校教員です。当然ACEの会員も多数を占めています。現在、活動開始から約2ヶ月が経ち、組織もまとまってきたところです。設立前はただマシンを集めて直して、そして・・・と考えていたのですが、企業などの場合、機材の廃却や所有権移転の問題、添付のソフトウェアの著作権の問題、運営・維持資金の問題等々、一つ一つ真面目な顔で考えなければならない問題がたくさんあるのです。それ故、もう少し活動計画を詳細に練らなければならない点もあり、この点、次回6月11日の集まりで具体的な展開へと話しを進めていく予定です。

現在、当会ではいらなくなったコンピュータを集めています。寄贈、廃却の予定などがありましたら、ぜひご連絡ください。故障品でも可です。ただし、リサイクルする事が前提ですので標準的な部品が使われている機種が対象となります。申し訳ありませんが、集めているコンピュータの種類は以下のように限定させていただきます。お願いしておいて全く勝手とは思いますが、この条件以下の機種ではたとえ再生しても実用性が乏しいことをご理解ください。また、資金がいっさい無い状態ですので、送料の負担ができません。当面、ご連絡があった場合、こちらから引き取りに参ります。

・CPUが486以上のIBM-PC/AT互換機(DOS/V機)

・CPUが486以上のPC9821シリーズ

・CPUが68040以降のMacintosh

(不明なときは私宛にお問い合わせください)

最後に、当会では今後も希望があれば会員数を増やしていきたいと考えています。ただし、グループの性格上、いろいろな知識を自ら実践して学んでいく姿勢が望まれています。初心者の方でも「進んで学ぶ姿勢」のある方は入会を考えてみてください。1年後には大きく成長していると思います。

再生後の機体については希望団体や個人への配布方法が決まり次第この会報等を通してアナウンスしたいと思います。

ご意見、ご希望などありましたら私宛に、できれば電子メールでお願いいたします。(yosimizu@netfarm.ne.jp)

システム管理者地獄変

標茶町立標茶中学校
村田 城司

第二話「じけん」

ある日、log をチェックすると
「あれえ?」

```
**/19 18:23:17 ルータ発信[B1]: 番号[01548****]
  トリガバケット[UDP ***.***.***.*/3130 --> ***.***.***.*/
  3130]
**/19 18:23:21 PPP[B1]: LCP up
**/19 18:23:22 PPP[B1]: IPCP up
**/19 19:37:06 アナログ着信[B2]: 番号[]
**/19 19:37:21 こちらから切断[B2]: 料金[0 円]
**/19 21:28:24 こちらから切断[B1]: 料金[620 円]
```

時間に注目してください。18:23 から 21:28 分まで連続してつながってるのです。ちなみにその後もすぐにつながって、22:30 までは連続してつながっていました。21:30 は強制的に接続を切るスクリプトが動いている時間なのでそれで切れたとして、その後もすぐにつながっていくというのが... しかも、その時間帯にその学校には誰もいなかったというのです。

「もしかして、学校の怪談というヤツ?」

ということは全然考えないで、徹底的にその学校のマシンに残っていた log を調べました。この時の私は例の「連続接続事件」の可能性の方を考えていたのです。しかし、全く原因がわかりません。で、疲れはててもう一度 log を見てみると

「あん?port3130 に問い合わせにいつてるうううう?」

ちょっと専門的な話になります。各学校には web サーバーのデータをキャッシュするための proxy サーバーが動いています。各学校の proxy サーバーは教育委員会の proxy サーバーに「キャッシュがない?」と問い合わせに行くという仕組みになっていて、その問い合わせに使われる port 番号が 3130 なのです。

つまり、これってばこの時間帯に誰かが「web を見やがってる」から、連続して接続することになってるということなのです。灯台元暮らしというか、まさかそういう単純なことはないだろうと思っていたのですが...

というわけで、早速その学校の proxy サーバーの log を調べてみると

```
192.168.0.* - - [19/***/1997:18:29:18 +0900]
"GET http://members.sexroulette.com/?acb=acb102382-d1101"
TCP_MISS 6760
192.168.0.* - - [19/***/1997:18:29:43 +0900]
"GET http://sinful.net/top100/hardcore.shtml" TCP_MISS 21327
```

みたいな感じで、web を見た形跡がぞろぞろ出てきました。しかも全部がアダルト系(爆)。端末は職員室のものです。回ってる時間が結構短いから、自動巡回ツールを使ってる可能性があります。うーむ...

さて、と一つですが、ここで私の立場をはっきりさせておきましょう。私の仕事というのは「各システムを円滑に問題なく動かす」ということであり、その中には「覚えのないアクセスでムダに電話代を払うことがないようにする」

も含まれてるわけです。ということで、今回の件については、この学校で

「いやー、実は見てたんですよ。ぐふぐふ」

と認めていただければ

「なーんだ、そーゆーことだったのかー。はっはっはっはっは」で、私の仕事は終わるわけです。例え教職員が公費で H なページを見まくっていたとしても、私には何の関係もありませんから。

結論から言えば、意外と簡単に認めてくれました。Internet 上にどのようなリソースがあるかを調査していたんだそうです。調査ねえ...(微笑)。いや、私にとっては関係ないことですが。一応、教委に事の顛末を報告して、一件落着きました。

では皆さん、次回をお楽しみにね!!!

A C E 勝手に連載もの

火の壁をたかる、いや語る

IIJ 札幌支店 燃える田中 真一

先週だったか、うちのオフィスに珍客が現れた。何の前振りもなく現れたその人は奈良先端大学にいつもいる筈の山口スグル氏であった。聞くとその日は、某北の大学にいつもおなじみの「セキュリティ」に関する抗議いや講義をおこなったのだとか。山口氏といえば J P C E R T を連想する、という人はかなりこの業界に精通しているといえよう。

おお、わざわざネットセキュリティについて遥々札幌までやって来たのかと感心したが、本人曰く「何度も来てるよん」とのことであまり感動が無かったのです。では逆に「札幌もついにセキュリティを考えるぐらいにユーザも成長したのかぁ」とこれまた感動したが、答えはむなしく「講義に来てたのはせいぜい 30 人ぐらいよん」がーん。

やっぱり。まだまだ火の壁どころか専用線すら導入してない企業が多いのだから仕方ないのかぁ。注) 火の壁って何? という方は是非英語にしてみてください。

しかも 30 人のうちの半数は学生だったらしく、企業はせいぜい 6, 7 社という寂しい状況であつたらしい。

現在インターネットを取り巻く環境においては、「踏み台」サイトをかたっぱしから探し出して SPAM を流し込む手法が頻繁に行われております。これはごく身近なところで発生してしまっていて、踏み台にされちゃったのは札幌にあるサーバなんぞもゴロゴロあるようです。

なんたって、踏み台可能サーバを探すための自動プログラムなんぞが存在しており、いやらしく舐め回して静かに去っていくものです。で、何度か踏み台にされたところは本当は被害者ですが、SPAM メールを受けた人にとっては加害者に見られるため、その踏み台サイトをブラックリストに載っけちゃうことで次回から配送されないようになります。

ということは、通常のメールも相手には届かないという事が起こり得るのです。セキュリティはインターネットにおいて大事な要素です。

普通、家を建てる時と玄関に鍵を付けるでしょう。でも、専用線でサーバを立ち上げても鍵を付けない家(サイト)が多いのです。付けてもすぐ開けることができるちゃちな鍵では意味がありませんよね?

自社サーバを立ち上げるのであればせめて火の壁(ファイアウォール)を導入しましょう。家内安全、健康第一。

6 月研究会予定

6 月の研究会は、札幌を離れた地域で行いたいと思います。これまで道南地域での開催がなかったので、第一候補は以前から一度行きたいと思っていた大成高校でと考え、入澤先生に調整をお願いしているところですので、ここでは「予定」ということでご案内します。今回は NCF 情報と教育フォーラムとの共催です。

1998 年度第二回「北海道の情報と教育フォーラム」

(ACE 北海道支部、NCF 情報と教育フォーラム共催)

■日 時：6 月 27 日(土) 午後 2 時～午後 5 時

■会 場：大成町立大成高校コンピュータ教室(予定)

■内 容：

・大成高校のインターネット学習の実践と校内ネットワークについて(大成高校・入澤先生)

・インターネットを利用して取り組んでいること(大成高校生徒、教員)

・北海道の教育と情報のページ「オンコの木」の構築状況

・ACE と NCF 教育フォーラムの今年度の活動について

・学校を中心とした地域のネットワーク化、活性化について、最近道内で見られる事例など

終了後懇親会を行い、訪問組は翌日帰路に着くことにしたいと思います。また、せっかくの地方開催ですので、周辺地域の会員、非会員にも積極的に参加を呼びかけます。参加希望は、事務局(aoyagi@hokkaido-np.co.jp、011-210-5506)へご連絡を!

開催地が正式に決定しましたら、NCF 教育ホームページ(<http://www.ncf.or.jp/wg/education/>)および ACE と NCF の ML でご案内しますが、事務局へお問い合わせ下さっても結構です。

新会員紀行

アジアの車窓から

さいと(site@iij.ad.jp)

多くの日本人は、英語を中学で 3 年間も習います。でも、「私は英語ができます」と言う人は少ないです。変だと思いませんか? 考えてみてください。生まれたばかりの子供ですら 3 歳にもなれば、ちゃんと意思の疎通ができるようになります。アメリカ人の幼児にできることが、本当に、日本人にはできないのでしょうか? :-)

いきなり変な話ですが、ここ数年、アジアの国々を歩いていて思うことは、「日本人は自分が思っているよりは英語が出来る」ということです。アメリカに行くと、周りが英語をべらべら喋る人ばかりだと、「うう、英語ができない」となりますが、回りがベトナム語だったり、タイ語だったりマレー語だったりすると、「あー英語ができて良かった」と思う事が多いから不思議です:-)

たとえば、私が生まれた奈良という所はどういうわけかやたらに外国人が旅行に来ます。そして、街を歩く外国人に道なんかが聞かれる事がよくあります。

外『明日 寺に行きましたが、この駅から何でいきませんか?』

国語のテストなら 0 点の作文:-)ですが、私は、この外国人に

私「それなら 行きにのって 2 つ目の駅でおりると駅の前ですよ」

と、教えることができます。そして、この外国人は、私から寺に行く方法を聞き出すという目的を達成することができました。

つまり、この外国人は日本語で意思の疎通ができたということになります。

逆も真なりで、日本人が外国に出れば、このような、時制無視、文法無視の、単語を適当に並べた英語で十分意思が通じたりするわけです。確かに、この状態で教育について熱く語るのは無理かも知れませんが、観光はできますし、お腹がすけば食事でもできます。

言葉は通じるとおもしろくなります。おもしろくなれば自発的にもっと理解したくなるでしょう。そして文法を覚えるとさらに通じるようになります。

飛行機でスチュワーデスのお姉さんから食事をもらうときに、ス『beef? or chicken?』

と、聞かれて、

日「あいあむちきん!」

と、答えると、周りの人に妙に受ける(*)という事実気付いたりすると、もっと楽しくなるに違いありません。そんな英語教育ってどこかの学校でしてくれないかなあ、などと思う今日このごろではあります。

え? こんなことを書いている私の英語力ですか?

きっと「3 歳児程度には話せると思います」。

終

(*) なぜ受けるのかについては次号までの宿題としましょう:-)

編集後記

差し入れのミストを食べてるとなぜかパーチャル雪まつりの味がしました。こうやってだんだん年をとっていくのね。悔しいから G3 でも買うかな。(吉田)

最近みなさん忙しいんですか? 新年度の熱気が冷めて、ちょっと ACE の活動が停滞気味だなあ、と感じていたら、北海道支部の生みの親でありながら、研究会には 2 回しか来てくれたことのない亜土電子の蝦名さんが現役教員に復帰したので、ACE 活動を再開するというお話をしてくれて、ますます憂鬱な気分になってしまいました。というのは冗談よ、蝦名さん。でも冗談のうちに顔を出しに来てね。(青柳)

新しい環境に移って早くも 2 ヶ月が過ぎ、時間の流れの速さに驚いております。音楽の専門学校からソフトウェアの専門学校へと移籍し、扱う・教える内容は全く変われども、学生たちとの交流の時、また、たむきに努力する姿などを見ていると幸せな気持ちでいっぱいになります。ホントにせんせいやってよかったあ、と。これから就職活動を本格的に開始する学生たちのパイタリティに負けないう、僕たち教員もがんばらなくちゃ! といった、ここ最近の雑感でありました。(見澤)

充実した毎日が続き、寝る暇もなく、飛び回っています。先週から毎週木曜日は、学校で夜遅くまで何かをする事にしました。早速ラジコン飛行機の製作に千歳から。澤さんが来て朝 2 時半まで作ってました。ものを作る事の喜びは作ったものにしかわからないものですが、今週で 1 号機が完成予定です。3 1 日には苫小牧飛行場で初フライトできるか? という状態ですが、わいわいやるのも楽しいものですね。温かい日が続きいよいよ夏が近づいてきました。そしてもうすぐ今年も終わってしまうに違いありません。時間がたつのが速すぎる。そう思いませんか? (尾崎)

教育とコンピュータ利用研究会 北海道支部

1998 年 5 月 26 日発行